

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)プレサンスロジェ城陽寺田Ⅱ

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境				3.0	0.40	3.3	1.00	3.5
1	音環境			3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
	1.1 室内騒音レベル	-		3.0	0.50	3.0	0.50	
	1.2 遮音	住戸はT2(参照図:A-04特記仕様書2)		3.0	0.50	3.6	0.50	
	1 開口部遮音性能	-		3.0	1.00	5.0	0.30	
	2 界壁遮音性能	-			-	3.0	0.30	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-			-	3.0	0.20	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-			-	3.0	0.20	
	1.3 吸音	-			-		-	
2	温熱環境			1.0	0.35	4.0	1.00	3.7
	2.1 室温制御	断熱等性能等級4相当(添付書類:省エネ届結果集計書)		1.0	0.50	4.0	1.00	
	1 室温	-		1.0	0.63	-	-	
	2 外皮性能	-		1.0	0.38	4.0	1.00	
	3 ゾーン別制御性	-			-		-	
	2.2 湿度制御	-		1.0	0.20	-	-	
	2.3 空調方式	-		1.0	0.30	-	-	
3	光・視環境			2.1	0.25	2.8	1.00	2.7
	3.1 昼光利用	(添付書類:計算書)		1.8	0.30	1.4	0.30	
	1 昼光率	-		1.0	0.60	1.0	0.50	
	2 方位別開口	-			-	1.0	0.30	
	3 昼光利用設備	-		3.0	0.40	3.0	0.20	
	3.2 グレア対策	住戸:ダブルカーテンレールとバルコニー(庇相当)有(参照図A-24,25矩計図)		2.0	0.30	4.0	0.30	
	1 昼光制御	-		2.0	1.00	4.0	1.00	
	3.3 照度	-		2.0	0.15	3.0	0.15	
	3.4 照明制御	-		3.0	0.25	3.0	0.25	
4	空気質環境			3.6	0.25	4.2	1.00	4.1
	4.1 発生源対策	F☆☆☆☆全面,VOCも拡散量少ない建材(参照図A-03~05特記仕様)		4.0	0.60	5.0	0.63	
	1 化学汚染物質	-		4.0	1.00	5.0	1.00	
	4.2 換気	(添付書類:計算書)		3.0	0.40	3.0	0.38	
	1 換気量	-		3.0	0.50	3.0	0.33	
	2 自然換気性能	-			-	3.0	0.33	
	3 取り入れ外気への配慮	-		3.0	0.50	3.0	0.33	
	4.3 運用管理	-			-		-	
	1 CO ₂ の監視	-			-		-	
	2 喫煙の制御	-			-		-	
Q2 サステナビリティ				3.0	0.50	3.0	1.00	3.1
1	機能性			3.0	0.40	3.8	1.00	3.7
	1.1 機能性・使いやすさ	-		3.0	0.40	5.0	0.60	
	1 広さ・収納性	-			-	5.0	1.00	
	2 高度情報通信設備対応	UGOM最大光1Gbit予定(添付パンフレット参照図E-01特記仕様、E-22)		3.0	1.00		-	
	3 バリアフリー計画	-		3.0	0.30	2.0	0.40	
	1.2 心理性・快適性	-		3.0	0.30	3.0	0.50	
	1 広さ感・景観	-			-	3.0	0.50	
	2 リフレッシュスペース	(エントランスホール照明計画、外観パース、住戸モデルルーム)		3.0	1.00	1.0	0.50	
	3 内装計画	-		3.0	0.30		-	
	1.3 維持管理	-		3.0	0.50		-	
	1 維持管理に配慮した設計	-		3.0	0.50		-	
	2 維持管理用機能の確保	-		3.0	0.50		-	
2	耐用性・信頼性			3.0	0.30		-	3.0
	2.1 耐震・免震・制震・制振	-		3.0	0.50		-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-		3.0	0.80		-	
	2 免震・制震・制振性能	-		3.0	0.20		-	
	2.2 部品・部材の耐用年数	水セメント比かぶり厚基準;劣化対策等級3(参照図SS-1,2構造特記)吹付タイル		3.1	0.30		-	
	1 躯体材料の耐用年数	-		5.0	0.20		-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-		2.0	0.20		-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-		2.0	0.10		-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-		3.0	0.10		-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管排水管にVP管(2種でC以上)(参照図M-02特記仕様書)		4.0	0.20		-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔	-		2.0	0.20		-	
	2.4 信頼性	-		3.0	0.20		-	
	1 空調・換気設備	-		3.0	0.20		-	
	2 給排水・衛生設備	節水型トイレ(添付書類:製品説明書)		3.0	0.20		-	
	3 電気設備	-		3.0	0.20		-	
	4 機械・配管支持方法	-		3.0	0.20		-	
	5 通信・情報設備	-		3.0	0.20		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)プレサンスロジエ城陽寺田 II

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	1.0			○	○	-				○				
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	-	-	○	-	○	-			○			
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0						○				○	○		○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-								
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-								
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○		○	-	-								
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		-	1.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無															
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○												
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		-	-	-	-	-	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-						
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 昼間照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標		窓システムSC - 窓の日射取得率(η) -																			
Q1 室内環境	2.1.3 外皮性能	U値(W/m2K)	窓システム -				屋根 -				外壁 -				床 -						
		住戸部分	窓システムU値 -				外皮UA値 -				ηAC -				ηAH -						
3.1.1 昼光率		昼光率 0.3%																			
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率 0.0%																			
Q2 サービス性能		執務スペース 0.0㎡/人 病床 8.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡																			
1.1.1 広さ・収納性		コンセント容量 0.0 VA/㎡																			
1.1.2 高度情報通信設備対応		天井高 2.4 m																			
1.2.1 広さ感・景観		リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%																			
1.2.2 リフレッシュスペース		想定耐用年数 25~30 年																			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定必要間隔 15 年																			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔 0 年																			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔 0 年																			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		階高 2.78m m																			
3.1.1 階高のゆとり		壁長さ比率 0.0%																			
3.1.2 空間の形状・自由さ		床荷重 - N/㎡																			
3.2 荷重のゆとり		外構緑化指数 9% 建物緑化指数 0%																			
Q3 室外環境(敷地内)		空地率 58% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 4% 舗装面積率 53%																			
1 生物資源の保全と創出		BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級4 相当																			
3.2 敷地内温熱環境の向上		自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡				採光を満たす教室数				0.0%				採光を満たす住戸数 100.0%							
LR1 エネルギー		通風を満たす教室数				0.0%				通風を満たす住戸数 100.0%											
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 0.96 太陽光 0.0kW 太陽熱等 0.0kW 蓄電池 0.0kW																			
2 自然エネルギー利用		雨水利用率 0.0%																			
LR2 資源・マテリアル		特定調達品目 発泡ウレタン断熱 エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 府産木材																			
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		使用比率 0.0%																			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)																			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 3																			
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)																			
3.2.2 発泡剤(断熱材等)																					
3.2.3 冷媒																					
LR3 敷地外環境		見付面積比 0% 隣棟間隔指標R _w -																			
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策面積率 0.0%				屋根面対策面積率 0.0%				外壁面対策面積率 #DIV/0!											
		見付面積S _b ㎡				卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 0 m				基準高さH _b 0 m											
		緑地 88㎡				水面 ㎡				保水性対策面 ㎡				高反射対策面 ㎡				再帰性反射対策面 ㎡			